

第 7 1 回 全日本中学校通信陸上競技大会十勝大会
兼第 5 6 回 北海道中学校陸上競技大会十勝予選
兼第 5 2 回 全日本中学校陸上競技選手権大会予選

1. 主 催 (財)日本陸上競技連盟 (財)日本中学校体育連盟 (一財)北海道陸上競技協会
北海道中学校体育連盟 全十勝中学校体育連盟
2. 後 援 北海道教育委員会 帯広市教育委員会 NHK
3. 主 管 十勝陸上競技協会
4. 日 時 令和 7 年 6 月 2 8 日 (土) ・ 6 月 2 9 日 (日) 2 日間共雨天決行
5. 場 所 帯広の森陸上競技場
6. 開 始 式 令和 7 年 6 月 2 8 日 (土) 8 時 4 0 分
7. 競 技 開 始 令和 7 年 6 月 2 8 日 (土) 9 時 2 0 分 6 月 2 9 日 (日) 9 時 2 0 分
(予定)
8. 種 目 男子 1 7 種目 女子 1 5 種目

	種別・学年	種 目
男 子	1 年 生	1 0 0 M 1 5 0 0 M
	2 年 生	1 0 0 M
	3 年 生	1 0 0 M
	全学年 共通	2 0 0 M 4 0 0 M 8 0 0 M 1 5 0 0 M 3 0 0 0 M 1 1 0 M H 走高跳 棒高跳 走幅跳 砲丸投 5. 0 K g 円盤投げ 1. 5 k g 4 × 100 M R 四種競技 (110 M H ・ 砲丸投 4. 0 K g ・ 走高跳 ・ 400 M)
女 子	1 年 生	1 0 0 M
	2 年 生	1 0 0 M
	3 年 生	1 0 0 M
	全学年 共通	2 0 0 M 8 0 0 M 1 5 0 0 M 1 0 0 M H 走高跳 棒高跳 走幅跳 砲丸投 2. 7 2 K g 円盤投げ 1. 0 k g 4 × 100 M R 四種競技 (100 M H ・ 走高跳 ・ 砲丸投 ・ 200 M)

~~~~~ の種目は全国・全道大会では実施しない。

競技は以下の通り実施の予定です

- 1 日 目 【男子】 200m 800m(予) 1年・共通1500m(予) 3000m(予) 400mR(予)  
走高跳 棒高跳 走幅跳 円盤投 四種競技(110mH・砲丸投)
- 【女子】 1年～3年100m 800m(予) 1500m(予) 400mR(予) 棒高跳  
砲丸投 円盤投 四種競技(100mH・走高跳)

※四種競技は男女共2日間で実施する。

※参加者数によっては予選を行わず予選の日程で決勝を行う場合もある。

バーのあげ方(参加者数や当日の天候により変更の場合有り)

最後の一人になるまで以下の上げ方とする

走高跳男子 1m25 1m30 1m35 1m40 1m45 1m50 1m55 以降3cmきざみ

女子 1m15 1m20 1m25 1m30 1m35 1m40 以降3cmきざみとする。

棒高跳 1m80 1m90 2m00 10cmきざみ

以下の種目に計測ラインを設定する。下記の記録に到達しない記録は計測はしない。

走幅跳 男子 3m50 女子 3m00

砲丸投 男子 6m00 女子 5m00

9. 参加資格

- (1) 北海道中学校体育連盟に加盟する中学校・中等教育学校・義務教育学校に在籍する生徒で、当該学校長及が出場を認めた生徒とする。
- (2) 年齢は、平成22年4月2日以降に生まれた者に限る。
- (3) 前項以外の生徒が参加を希望する場合は、令和7年6月30日までに、北海道中学校体育連盟に申し出ること。

- (4) 北海道中学校体育大会に学校教育法第134条の各種学校(第1条に掲げるもの以外)と地域クラブ活動の参加を認める。但し、詳細については北海道中学校体育大会開催基準及び後述の(9)による。
- (5) チームは、単一学校で編成されたものとする。但し、実施の事業主体が市町村教育委員会または市町村校長会である拠点校部活動はその限りではない。(該当競技のみ)。拠点校部活動の監督・引率は出場校の校長または教員が当たるものとする。但し、やむを得ない場合は、代表監督・引率を認める。
- (6) 外部指導者(コーチ)は校長が認めた者で、北海道中学校体育連盟に登録された者とする。
- (7) 参加者は、開催要項に掲げる個人情報の取り扱いについて了承するものとする。
- (8) 同一年度内の参加は1人1競技とする。ただし、夏季競技と冬季競技の重複は認めるものとする。

(9) ◎学校教育法134条の各種学校在籍生徒

①学校教育法第134条の各種学校(第1条に掲げるもの以外)に在籍し、全十勝中学校体育連盟の各地区予選会に参加を認められた生徒であること。

②参加を希望する各種学校は以下の条件を具備すること。

A 全十勝中学校体育大会の参加を認める条件

- ア 全十勝中学校体育連盟の目的及び永年にわたる活動を理解し、それを尊重すること。
- イ 生徒の年令及び修業年限が我国の中学校と一致している単独の学校で構成されていること。
- ウ 参加を希望する学校にあっては、運動部活動が学校教育の一環として、日常継続的に当該校顧問教員の指導のもとに、適切に行われていること。

B 全十勝中学校体育大会に参加した場合に守るべき条件

- ア 全十勝中学校体育大会開催基準を守り、出場する競技の大会申し合わせ事項等に従うとともに、大会の円滑な運営に協力すること。
- イ 全十勝中学校体育大会参加に際しては、責任ある当該校校長又は教員が生徒を引率すること。また万一の事故発生に備え、傷害保険等に加入するなどして、万全の事故対策を立てておくこと。
- ウ 大会開催に要する経費については、必要に応じて応分の負担をすること。

◎地域クラブ活動に所属する中学生

①地域クラブ活動に所属し、全十勝中学校体育連盟の地区予選会に参加を認められた生徒であること。

②参加を希望する地域クラブ活動は以下の条件を具備すること。

A 全十勝中学校体育大会の参加を認める条件

- ア 全十勝中学校体育連盟の目的及び永年にわたる活動を理解し、それを尊重すること。
- イ 生徒の年齢及び修業年限が我が国の中学校と一致している(中学校に在籍している生徒であること)。
- ウ 地域クラブ活動にあっては、日常継続的に代表者もしくは指導資格を有する指導者の指導のもとに、適切に行われていること。
- エ 『学校部活動及び新たな地域クラブ活動の在り方等に関する総合的なガイドライン』(令和4年12月スポーツ庁発出)の「2 合理的でかつ効率的・効果的な活動の推進、3 適切な休業日等の設定」を遵守していること。
- オ 当該競技を管轄する全十勝競技団体もしくは地区競技団体に登録されていること。かつ同じ内容で地区中学校体育連盟に登録していること。
- カ 全十勝における予選会となる全ての大会において、競技役員や審判など運営上必要な事項に協力すること。
- キ 地域クラブ活動で全国中学校体育大会につながる大会に参加する場合、在籍中学校での大会参加は認めない。その逆も同様である。

B 全十勝中学校体育大会に参加した場合に守るべき条件

- ア 全十勝中学校体育大会開催基準を守り、出場する競技種目の大会申し合わせ事項などに従うとともに、大会の円滑な運営に協力すること。
- イ 全十勝中学校体育大会参加に際して、地域クラブ活動においては、責任有る代表者・指導者が生徒を引率すること。また、万一の事故発生に備え、傷害保険などに加入するなどして、万全の事故対策を立てておくこと。

- ウ 全十勝中学校体育大会への参加に要する経費については、必要に応じて応分の負担をすること。
- エ 団体競技における地域クラブ活動名での出場は1チームのみとする（複数のチームの参加はできない）。
- Ｃ 参加を認めない場合
  - ア 全十勝中学校体育大会の参加申込に際して、参加条件に虚偽の内容が判明した場合は参加を認めない。
- ③ 全日本中学校陸上競技大会参加の特例細則
 

在籍している学校の所属、または日本陸上競技連盟に登録をしている地域クラブ活動の所属のいずれかで参加できる。いずれの場合も、在籍している学校が所在する市町村（※）より、標準記録突破指定大会、全日本中学校陸上競技選手権大会に参加する。

複数の種目（リレーを含む）に出場する場合、種目によって異なる所属から出場することはできない。標準記録突破指定大会、および全日本中学校陸上競技選手権大会には同一の所属団体から出場しなくてはならない。

（※）以下の２つの要件を満たす場合は、地域クラブ活動の登録所在地の市町村より参加することができる。

  - ①「地域移行モデル地区や自治体主導で地域移行を進めるために発足した地域クラブ活動」又は「地域移行の受け皿となっている地域クラブ活動」に在籍している場合
  - ②在籍している学校に希望する部活動がないこと等の場合において、北海道中学校体育連盟が市町村をまたいだ大会参加を認めている場合

リレーについては、別紙（北海道中体連HPおよび十勝陸上競技協会HP中体連ページに掲載）HP令和7年度 北海道中学校体育大会 地域クラブ活動のリレー参加資格を確認すること。

■「地域移行の受け皿となって入り地域クラブ活動」の定義について  
（北海道中体連）

「地域移行の受け皿となっている地域クラブ活動」とは、当該団体が在籍地等の教育委員会や学校等と連携しながら、地域移行に向けて取組を進めているクラブ（教育委員会の承認が必要）のことであり、複数のチームから一部の選手のみを選抜した形でつくるような地域クラブ活動を意味するものではないこと。

【該当競技・該当種目】

・陸上競技リレー      ・陸上競技駅伝      ・体操団体      ・新体操団体  
・卓球団体      ・剣道団体      ・バスケットボール（バスケットボールについては、本競技細則の内容に則ること）

※<sub>1</sub> 各市町村教育委員会と連携し、域内の学校部活動の地域移行に向けた具体的な取り組みに日常的に参画したり、学校部活動を地域移行させるための団体として指定したりしている団体であること。

※<sub>2</sub> 域内の中学校の生徒が所属している団体であるということのみを持ってして、「地域移行の受け皿」であるということには該当しないこと。

- 10. 参加制限      トラック競技は種目毎の参加人数制限はなし。  
                          フィールド競技は各種目6名以内とする。（四種競技は3名以内）  
                          1人2種目までとする（リレーは除く）      リレー競技は1校男女各1チームとする。
- 11. 競技方法      2025年度日本陸上競技協会規則と本大会規則、競技注意事項を適用する。

12. 表 彰 各種目の8位まで賞状を授与する

13. 申込方法 申し込みは以下の**必ず(1)と(2)の両方**を確実に行うこと。

(1) Web申込方式により申込むこと。

申込様式のシートは十勝陸協ホームページより中体連主催大会専用フォームをダウンロードし必要事項を入力する。

その際、入力 of 注意事項をよく読んで入力すること。

**最高記録は必ず入力すること。**(公式記録がない場合は練習記録でも可)

入力後、専用フォームをメールに添付し送信すること

送信先 **entry@ivy.ocn.ne.jp**

※ファイル名・送信件名は学校名+大会名

①男女一覧 ②参加人数

・アスリートビブスが未記入の場合は申し込みを受け付けない。

(2) 入力したエントリー用紙を印刷、**監督の押印した後**、下記に郵送または持参すること。

※封筒表面に大会名を記載すること

(3) 参加料は下記口座へ学校毎に振り込むこと。

振込名は今回の大会番号「**10**」+「**学校名**」で振り込むこと。(例: 9オビヒロダイイチウ)

\* ゆうちょ口座からの振込の場合

記号: 19090 番号: 50387991

団体名: トカチリクジョウキョウギキョウカイ

\* 他金融機関からの振込の場合

ゆうちょ銀行 店名: 九〇八 店番: 908

預金種目: 普通預金 口座番号 5038799

14. 参加料 1人1,000円とする。

リレーは1チーム1,500円とする。

15. 申込締切 **令和7年6月12日(木)～16:00 厳守**

※期日、時間に遅れた場合いかなる場合も受け付けない。

16. 申込先 〒080-0272 河東郡音更町字下士幌北2線東25

音更町立緑南中学校内 全十勝中体連陸上競技専門部 西田 昌彦 宛

**※必ず大会名を封筒に記載する**

17. 第52回全日本中学校陸上競技選手権大会(沖縄大会)への参加資格

第56回北海道中学校陸上競技大会(室蘭大会)への参加資格

本大会において、それぞれの種目の標準記録に到達した競技者は全国大会・全道大会への出場資格を得る。ただし、全国大会への参加標準記録については、追い風参考記録は対象としない。

(四種競技においては全国大会への標準突破指定大会とはならない)

**※参加標準記録については北海道中学校体育連盟陸上競技専門委員会HPでご確認ください。**

18. その他 \* 指定以外の方法での申込や、参加料のないものは受理しない。

(プログラム編集作業に支障をきたします、ご協力ください)

\* アスリートビブスは十勝陸協指定のナンバーとすること。

不明な点がありましたら下記に連絡下さい

勤務先 音更緑南中学校 西田 昌彦 0155-31-3791

\*\*\*\* 中体連主催大会ですので中学校顧問での審判協力をお願いします。

昼食につきましては、主催者で用意致します。

申込必要事項シートに希望役職を書いて下さい。(希望通り行かない場合もあります)